

くれよんクラブ（児童発達支援）評価表（事業所用）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%			
	②	職員の配置数は適切である	80%	20%		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	60%	40%		設備など改善できるところは進めていく。個々のニーズには応じられるように工夫しながら支援してまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	80%	20%		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		意見箱の設置を行っています	利用保護者にアンケートを実施し、ご意見をプログラムなどの変更や改善に生かしています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	80%	20%		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20%	80%		今後検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	80%	20%	引き続き、積極的に参加をしています	伝達研修を行いながら職員全体の質の向上に努めていきます。また、個々の得意分野も生かしながら職員間での学習の機会を取り入れて参ります。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%	遠城寺式発達検査を活用し行っています	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	80%	20%	「保護者支援」という表現を用いて「家族支援」「地域支援」をとらえ支援内容を設定しています	今後、支援内容をより具体的に表現し実施していくよう努めていきます
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		担当職員を中心として立案から見直しを随時行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	60%	40%	年間のプログラムを作成し活用しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	100%			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		支援開始前にミーティングを行い確認している。1日の動きをノートに残し確認できるようにしています。	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	40%	60%	全体で行えない時には翌日のミーティングにて共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		関係機関との情報交換等に活用しています。	より具体的な表現や記録の取り方などを今後も検討していきます
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%			
関係機関や保護者との連携関係機関や保	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者にそのこどもの状況に精通した最もふさわしい者参画しているか	100%			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%		定期的に会議を実施。また、日常的に情報交換をしています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解	100%			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%		研修に積極的に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		園外保育など地域での施設などを使用して行きたいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			委員会には積極的に参加を引き続きしていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		親子通園を実施しており、日常にお話合いができるよう心がけています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%		4、5歳児の保護者を対象としたペアレント・トレーニングを実施しています	今年度は日曜日にも実施いたしました。今後も日常的に生かせるよう取り組んでいきます
保護者への説	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に実施しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		職員全体が心掛けて実施しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	感染症の状況を鑑みて中止となった行事が多くなってしまった。	様々な視点で実施していけるように検討していきたい。

明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		日頃から関係機関と連携を図り対応しています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		毎月「くれよんだより」を発行しています。また、保育園などの関係機関へも配り、情報を共有できるようにしていま	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	100%		必要に応じて個別的に確認をしています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		○	地域との行事も感染症の状況で中となってしまった。	開催の仕方など環境が変化してもできることも検討していきたい。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		感染症対応マニュアルを作成し周知、実施いたしました。	その他のマニュアル作成を行うとともに保護者への周知も行っています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月実施しています。	規模を縮小しながら感染症対策をし、実施していきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこと物の状況を確認している			面接時やアセスメント票にも記入し、確認しています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者を通じて確認しています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	40%	60%	事例に基づき、会議等で対応策等検討しています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		研修への参加や実施をしています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		今後、虐待防止委員会と共に決定し実施していきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

くれよんクラブ評価表（児童発達支援・利用保護者用）

		チェック項目	はい	どちらでもない ええい	いいえ	わかり ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	75%	5%			・少人数なので十分な広さ	・園庭の確保が困難な状況ですが、安全面に配慮しながら近隣の公園なども活用した活動を実施していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				・たくさん先生に見ていただき安心して	・今後も職員一人一人の専門性を高めていく研修等を今後も積極的に行っていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	71%	7%	7%	14%	・建物が古い。個別に使う部屋に大きな机が置いてあり落ち着かない	・改善方法も含め、個々のニーズに応じられるように解決方法を提案しながら支援をしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	86%	7%	7%		・トイレが使いづらく・いつもきれいに掃除されています。	・感染予防対策としても定期的な消毒を実施しております。設備で使いづらい場合には工夫をしながら誰でも使いやすい空間となるようにしていきます
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%				・本人に合った課題を考えてくださり実行してもらっている	・今後も努めて参ります。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	93%			7%		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	93%			7%	・細かいところまで良く見てくれていると思う	・今後も努めて参ります。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	86%	7%		7%		・今後も目的や目標等を明確にしたプログラムを検討し提供できるよう職員の専門性を高め生かしていく体制づくりに努めていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や活動する機会があるか	58%	7%	7%	28%	・就園に向けて交流が増やせればと思う	・感染予防対策や新たな取り組みを今後検討しながら実施していきます。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				・わかりやすく説明してくれた	・引き続き努めて参ります。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	86%			14%		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	78%			22%		・年中長児の保護者対象で実施しています。引き続きペアレント・トレーニングを実施していきます。
非常時等の対応	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	86%	7%		7%	連絡帳や電話でも対応してもらっている・写真等で伝えてもらえるとうわりやすいと思う	・引き続き努めていきます。視覚的にわかりやすくお伝えできる工夫をICT化も含め検討していきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	86%	7%		7%	何でも相談できる先生方、適切なアドバイスももらっている・定期的に面談している	・引き続き努めていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	43%	14%		43%	・コロナの状況もあり難しかった・まだ参加していないのでわからない	・コロナの状況で多くの行事を中止となりました。今後は新たな形式での活動や連携を検討していきたいと考えています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	79%	14%		7%	・心配事や不安なことを相談し対応してもらっている	・今後も迅速かつ日々の取り組みでいきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	78%	22%				・引き続き努めていきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	50%	14%		36%		・保護者の皆様への周知の方法を更に検討して参ります
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	93%	7%			・毎月のおだよりの誕生日のお知らせは希望者だけでよいと思う	・皆さんのご意見を参考にしながら今後検討していきます。
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	93%			7%		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	86%			14%	・避難訓練に参加し経験になってよかった	・毎月避難訓練を実施しています。今後はAED研修等保護者の方も参加する訓練を検討してまいります
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	93%	7%			・まだ慣れていない・毎週楽しみにしてきている	・今後もおこさんやご家族が安心して楽しく通所できるよう努めてまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	93%	7%			・先生方、親身になって対応してもらっている・送迎がありがたい・とても良くてもらっています	・今後もご意見をいただきながら、より良い療育の提供に努めてまいります。

◇アンケート実施期間 2021年2月

◇対象利用世帯数…4世帯

◇回収数…3世帯

◇回収率…75%

くれよんクラブ評価表（放課後等デイサービス利用保護者用）

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	ご意見	今後の対応
環境・ 体制設備	①	こどもの活動等スペースが十分に確保されているか	100%				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	33%	67%		気にして施設をみたことがない。	施設全体がバリアフリー化をされていない状況です。必要に応じた対応を心がけておりますが、今後、施設設備でも改善していきます。
適切な 支援の 提供	④	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%				
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	67%	33%			行事など、楽しみながら学ぶ工夫をしています。
保護者への 説明等	⑥	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				
	⑦	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの発達状況や課題について共通理解ができているか	67%	33%		子どもと一緒にいる時はなかなか話ができない。	保護者面談を定期的実施して参ります。
	⑧	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				
	⑨	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	67%	33%		苦情があるのかわからない。	苦情があった場合の責任者や対応窓口を定めております。苦情がない場合も職員が広い視点で問題解決をしていけるように努めて参ります。
	⑩	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				
	⑪	個人情報に十分注意しているか	67%	33%			お知らせなど個人情報のあり方を再度検討しながら取り組んでまいります。
非常時 等の 対応	⑫	緊急時対策マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100%				
	⑬	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%				今後も、様々な状況を想定した訓練を定期的実施していきます。
満足度	⑭	こどもは通所を楽しみにしているか	100%				
	⑮	事業所の支援に満足しているか	100%				引き続き、努力していきます。

◇アンケート実施期間 2021年2月

◇職員数…5名

◇回収率…100%

くれよんクラブ（放課後等デイサービス事業者用）評価表

		チェック項目	はい	どちらとも ない	いいえ	今後の改善点等
環境・ 体制設備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			
	②	職員の配置数は適切であるか	100%			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	40%	20%	40%	・設備以外での工夫を検討し、改修すべき設備を優先的に改善していく
業務改善	④	保護者向けにアンケート等を実施し、保護者の意向等を把握し業務改善につなげているか	100%			・今後も意見を参考にして職員で共有し検討していく
	⑤	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%	20%		・今後も意見を参考にして職員で共有し検討していく
適切な 支援の 提供	⑥	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%		20%	
	⑦	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	0%	80%	20%	・自主的に参加できるプログラムを検討していく、職員がチームとなりより工夫していく
	⑧	平日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80%	20%		・職員会議等で、話し合う時間を多く設けていく ・普段から職員間のコミュニケーションを心掛ける
	⑨	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	100%			・担当が責任を持ち実施している。引き続き行っていく
	⑩	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	20%	40%	20%	・実施していく方法を工夫し実施できるようにしていく
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80%	20%		・日々の検討ができるよう、検討していく
関係機関・ 保護者と	⑫	学校との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	100%			
	⑬	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・限られた時間を有効に使っていくとともに、必要に応じて、保護者と話し合う機会を設けていく

の連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			・主に児童発達支援管理責任者が参加しているが
保護者への説明責任	⑮	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%		・職員の専門性を高めていくとともに専門家への協力を得ながら実施していく
	⑯	個人情報に十分注意しているか	100%			・引き続き、十分に注意していく
	⑰	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			・引き続き、十分に配慮していく
非常時等の対応	⑱	緊急時対策マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に通知しているか	80%	20%		・感染症マニュアルの作成、周知、実施を行った。防犯マニュアル等今後順次作成していく
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	60%		40%	・引き続き、避難訓練のなかに、水消火訓練や煙体験を行い、様々な状況を想定した訓練を実施していく
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%	20%		・人権擁護のためのセルフチェックを実施し研修を実施。引き続き、年1回は虐待研修を実施していき、適切な対応ができるようにしていく